

沈

上

軍政報第六號

在旅順公私有財產整理ノ件

旅順要塞開城以來同地ニ於ケル公有財產ノ整理

並ニ現時殘留ノ私有財產ノ狀況ニ就キ書類ニ依リ

並ニ過日同地ニ出張ノ際取調候結果概畧別紙ニ通

リ有之候條為御参考及進達候也

明治三十八年五月十六日

遼東守備軍司令部

公使館二等書記官小松

録



外務大臣男爵小村壽太郎殿

遼東守備軍司令部

出



3



二、關之事務ヲ擔當シ衛生委員ハ開城規約第九條ニ依ル  
 衛生事項及衛生材料並ニ患者ノ被服ニ關スル事務ヲ寄  
 川馬廄委員ハ馬廄及馬廄ノ飼養ニ要スル器具獸醫材料  
 裝釘器具蹄釘等ニ關スル事項ヲ擔當任セリ  
 各委員ハ分擔事項ノ收集整理ニ勉メタリト雖モ數利物件  
 ノ夥多ナルニ比シ整理事業ニ當ルヘキ人員ノ寡少ヲシカ為  
 事務ノ進捗ヲ妨ケタルト鮮カラリト雖モ今ヤ概ニ戰利品  
 ノ收集及調査ヲ了シ就中砲兵馬匹並ニ經理ニ關スル  
 事項ハ既ニ之般ノ路ヲ告ルニ至リ但他ノ諸班ニ屬シ細部  
 ノ整理ハ未タ容易ニ其終局ヲ見ル時機ニ達セサルニシテ又  
 新タニ發見スルモノ亦少カラカシ  
 行政整理委員ハ專ラ陸海軍ニ屬セリ土地家屋家具水  
 道道路橋梁其他市内一般ノ設備ヲ調査シ之ヲ利用スル

手段ヲ查査敷シ並ニ普通人民ノ取締及外國人退去  
 關之事項ヲ規定シ以テ東カニ要塞内ノ秩序ヲ回復スル  
 二、勢メタリ其第一着トシテ旅順全市ヲ新市街新河新  
 開地舊市街新支那市街及郊外ノ五區ニ別ケ橋梁軍用  
 地公共地ニ支那市街ノ區域ヲ明カシ街衢ニ新メ町名  
 ヲ附シ家屋ニ番號及管有私用ヲ明記シタル札ヲ釘  
 着シ且土地家屋ノ登記帳ヲ調製シタル而シテ同委員ノ受  
 領シタル物件ハ關東州廳及市役所並ニ其所屬物件行政  
 書類法令關之書類其他器具類旅順市ノ財產屬  
 之ニ新市街ノ土地全部ノ市有ニ係ル電話交換所並ニ  
 其所屬若械消防機關市立病院並ニ其所屬物件屬  
 獸場並ニ洗濯所點燈圖書館學校郵便局病院  
 檢査所並ニ地裁裁判所東清鐵道東清汽船倉庫並ニ請

關東州廳軍司令部

銀行大藏省所属建物五棟陸軍省所属建物二棟  
 警察署監獄署寺院等あり  
 現今旅順に残留スル重要ナル商店及倉庫並ニ其所属動産  
 不動産大畧左ノ如シ  
 一 滿州各地ニ在ル支店 滿州各地ニ在ル支店 滿州各地ニ在ル支店  
 行ノ支配ヲ受ケルニ拘ラズ旅順支店ニ限リ清國各地  
 支店ト均シク在上海路清銀行支配ヲ受ケル其支配人  
 二名ハ昨年六月中相前後ニ退去ル其後 監査役ニ  
 引モリ自ラ營業ニ從事スルコトナリシガ副支配人一名書  
 記二名ト共ニ開成ニテ事務ヲ繼續シタリ然レニ在監査役ハ  
 豫備陸軍中佐ニシテ副支配人並ニ書記一名モ亦兵役  
 服スルニ義務アルヲ以テ開成ニ至リ或モ得屬トシテ又宣誓  
 解放ノ屬分ニ依リ退去シタリ尤モ在監査役ヲモテハ現

ニ芝罘ニ在リテ旅順ニ歸來セントトシテ出願シタルモ未ダ許可セ  
 ラズ現任露清銀行支店ノ人員ハ一名ニ殘留セズ開成ノ  
 際我行政委員ノ書記ヨリ一切ノ現在金及帳簿ヲ引継  
 キ保管セリ  
 ニ キンスブルグ商店 露國猶太人ニシテ事務員モ皆  
 同種人ヲ使用シ海軍用達ヲ為シ其他何事ニ限ラズ營業  
 業ニ居レリ開成後三週間ニシテ印度人数名ヲ殘シ置キ其  
 商店ノ保管人ハ退去シ現存ニ在リテ一人ノ保管者モ居ラ  
 カレトモ海軍用達シリシ處ヲ以テ軍事上ヨリ調査ノ必  
 要アルニ依リ行政委員ニ於テ鍵ヲ預リ居レリ  
 三 クンストアルヘルス高會 獨逸人ノ組合ニシテ漢堡ニ本  
 店ヲ有シ聖彼得堡ヲテツカシ長崎上海等ニ支店アリ總  
 テノ雜業ニ從事シ新舊市街ニ敷ケ所ノ土地家屋ヲ所有

シ其價格五十万留ニ達スル又多量ノ商品ヲ現有ニ其價格モ又五十万留ニ上ルヘシ以田中ハロエル者全部ヲ監督シ開城後二月二十日ヲ以テ退去シ東京ヲ經テ漢堡ニ歸リタリ現今其財産ハマルテン、エルト外人ニテ監視シ毎日ヲ前及午後三時ヨリ五時ヲ營業シテアリ

四、チエリン會社 露國后資會社ニシテ浦塩斯德及ゴラゴウエチエンスクニモ支店アリ北方ニ於テハ全權事業ヲ管ニ此地ニ於テハ各種貨物ノ小賣ニ従事シ又時トシテ糧食ノ契約販賣ヲ爲ス支配人ビライエフハキリスコフナル者殘シ置キ昨年八月申退去シタリキリスコフハ各分ニ管理ノ任ヲ盡サズ露兵ノ掠奪スル所トナリタルノミナラズ日本軍砲彈ノ多ク倉庫ニ火災起リテ損害ヲ蒙レリ開城後三月十五日積殘品貨物茶、大物、製作物品等二百四十梱ヲ「ジャンク」ニ積

遼東守備軍司令部

載シテ時去リ目下何物モ現存セス

五、クラークワン會社 支配人ハ米國ノ高級商ニシテ浦塩斯德ニ住居シ毎年一回旅順ニ來リ親シク業務ヲ監視セリ麥粉ノ輸入ヲ專業トシ傍ラ石炭及「セメント」取引及回漕業ニ従事シ日本郵船會社トモ取引シ居リ開城後數日店員皆去リ其跡ニ同港ノ官設水先案内者ニ名中ノ一名タリシアウリンナル者其財産保管ノ任ニ當リシガ其帰國スルニ方リ後藤兼ヲ保管人ニ選定シタリト云フモ是ハ一應ノ依頼ニ過キスレテ正式ニ委任シハアラリシカ如シ

六、イースト、アジアチック有限責任會社 丁林國「ゴッペン」ゲンニ本社ヲ有シ海軍用達及契約輸入業ヲ營ミ船舶ヲモ所有セリ前支配人ヲ「レリット」云々國籍ハ何人モ知ラザリシガ「カルメニヤ」猶太人ナラント「コトナリ」同人カ不正行為ノ嫌疑アリ

遼東守備軍司令部



却てラレヤ丁味人、シテ南阿其和國、陽化シタルヲオラシ  
 之ニ代リテ、昨午八月、中旅順ヲ去リ、シヨールスタインシユ  
 ムルツノ二人ヲ支配人トシテ、残シ遺キタルモ、此二人ハ信任ヲ濫用  
 シテ、不正ノ形為アリ、開城後二週間ニシテ退去セリ、其後、印度  
 人ニ名ヲ殘留シ一人、新市街他一人、舊市街ノ商店ヲ監  
 視シタルモ、露兵乱入シ、多ク貨物ヲ盗ミ出シ、リト云フ、現今  
 支那市街ニ敗賣セル露國ノ酒類ハ皆此會社ヲ盜出シ  
 タルモノナリ、然レトモ尚ホ多量ノ貨物殘存シ居ル者ナリ、右  
 支配人ヲオラシ、現ニ上海ニ在リ、中、社領事ヲ經テ、財産整  
 理シ、再ニ旅順ニ入ルノ許可ヲ請ヒ、シモ整理中外人ノ旅順  
 行ヲ許サ、ルコトナリ、日本政府之ヲ許可セザリキ  
 七、シエタスブロック 獨逸人四名、右名會社ニシテ其組合  
 人ハ膠州灣(青島)及芝罘ニ住居セリ、雜貨小賣ヲ專

業トシ露國第一病院ノ附近ニ屠殺場ヲ有シ、牛豚肉ヲ  
 販賣シ、又大規模ノ麵包焼場ヲ所有シ、一時盛大ヲ極メ  
 タルモ、倉庫ハ日本軍ノ砲彈ノ為ニ、孰シモ大損害ヲ蒙  
 リ、タリ、支配人シヤウブハ、昨午四月、中、南、同、タ、ノ、シ、テ、リ、ア、  
 驛ニ赴キ、中、途、鉄、道、ヲ、連、絡、断、絶、シ、タル、タ、メ、歸、來、ス、ル、能、ハ、  
 カリキ不在、中、ハ、獨、逸、種、ノ、露、國、人、レ、リ、外、一、名、ヲ、殘、シ、其、他、ノ  
 店員ハ開城後皆引揚ケリ、現在ハ、エーベルトナル者、同店  
 ヲ代表シ居レリ  
 ハ、ロベルトコルデス會社 獨逸人ノ合名會社ニシテ本店ハ  
 漢堡ニテ、リ、右、種、ノ、貨、物、ヲ、輸、入、シ、テ、卸、賣、ヲ、業、トシ、獸、皮、ヲ  
 輸出セリ、開城後獨逸人スティーレンドルフ一人ノ子、殘リ居リ  
 シ、開城後二週間ニシテ退去セリ、亞鉛板二十萬枚、新市街  
 倉庫ニ在ル者ナリ

漢口信託銀行

九、ハイチ、フィリピン、インドネシア

獨逸人、台名會社ニシテ種

貨物、果、装飾品等ヲ販賣シ、又敵人、獨逸種、露國籍

他人、シテ、新カノン、之ニ閉城後ハ、ステアートルトナル者ヲ残

シテ退去シ、ラカ南品、尚ホ多量、残留ニ在リ、若クハ

十、イアフソール

露國商人ニシテ、酒類及食品、ト賣リ、

為セリ、閉城後退去シ、露國人ニ名ヲ留メ置テリ、尚ホ多量

ノ酒類、残存シタル者アリ

十一、ハラシコフ

露國商人ニシテ、元ハ材木商ナリ、シテ、後、鉄材

等、總テ、建築材料ヲ輸入シ、食品ノ販賣、依然、繼續シ

居リ、代理人、カウガン、現、新市街ニ住居セリ

十二、カエムコシダコフ

露國商人ニシテ、スィホロフナル者、他ノ露

國人ト組合シ、諸清銀行ノ助力ヲ得テ、各般ノ事業、從事

シタルカ、其代理人、シヤロフ、猶ホ同地ニ在リ、テ、鉄材、家具、敷

物類、尚ホ多量ニ存在セリ

支那の歴史

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

大連移設

14

寫

(海軍省第二十九号)

茲因本署  
本年九月一日后  
本署

倉知事官 宜若警視

業、寫、差出、置キタル港灣出入船舶停船規則  
 及関東州在留者取停規則案、其后修正セリ、其  
 少カラサルニ依り、確定案、付キ、又、市面報、及、  
 港灣出入船舶規則  
 并一條、船舶ハ大連灣、外出入スルコトヲ得ス但支  
 那形船舶及関東州沿岸航路ノ汽船並帆船ハ其  
 限リ、アラス



才二條、出入船舶ハ所轄民政署長ノ指定シタル所、於テ其乗客及船員ノシテ為スヘシ  
又ハ貨物ノ積卸

才三條、航行船舶ハ其船長ヨリ速ニ左ノ事項ヲ呈所轄民政署又ハ其支署若シテ警察官吏派出所駐在所、届出シヘシ

一、船ノ種類

二、船名及信號符字

三、船主氏名

四、船籍地

五、總噸數及登陸噸數又ハ石數

六、吃水 前部 後部

七、船員ノ氏名

八、貨物ノ品目、數量、價格、仕出地

九、乗客ノ氏名、族籍、住所、身分、職業、年數

十、發航及寄航港灣並其年月日

十一、出港豫定日及行先地

十二、航海中ノ事故

才四條、大連灣ノ入港スル船舶ハ檢疫ヲ受ケルニ必ラサレハ他船ト交面シ又ハ其乗客及船員ヲ上

陸セシメ若クハ貨物ノ陸揚ヲナシトシ得ス  
亦五條、入港船舶ニシテ航海中付染病患者ヲ發  
生シタル者又ハ付染病流行地ヲ發シ若クハ其地  
ヲ至テ來航シタル者又ハ付染病毒ノ汚染シタル  
片船舶ト交通シタル者アル者ハ入港前(大連灣  
ニアリテハ沿岸ヨリ一海里半 外ニ碇泊シ)檢疫信  
號ヲ掲ケ尚檢疫官吏ノ指揮ヲ待ツヘシ  
續テ船舶ノ前橋頭ニ晝間ニ黃旗ヲ掲ケ夜  
間ニ紅白二燈ヲ連掲スルモノトス  
亦六條、港灣内、碇泊中ノ船舶ニシテ付染病患者

ヲ發シタル片ハ檢疫信号ヲ掲ケ檢疫官吏又  
ハ警察官吏ニ届出テ更ニ檢疫又ハ消毒ヲハル  
アラサレハ出港シ又ハ他船ト交通シ若クハ乗客  
及貨物ノ陸揚ケテ為スコトヲ得ス  
亦七條、前二條ノ該条スル場合ニ於テ檢疫所ニ發  
置ナキ港灣ニテハ警察官吏ノ命アル片ハ晝ニ  
檢疫ヲ施行スル港ニ由航シテ檢疫ヲ受クヘシ  
亦八條、前三條ノ規定ハ軍用病院船ニ適用セズ  
亦九條、船舶港灣内、碇泊中ニ晝間ニ其ニ旗  
ヲ掲ケ夜間ニ海上衛安條防法ノ規定ニ準シ

船燈ヲ掲揚スヘシ

第十條 出港船舶、其船長ヨリ出港五時前、左  
ノ事項ヲ具シ、所轄民政署又ハ其支署若クハ  
警察官吏派出所駐在所、届ケ出ツヘシ

一 出港ノ日時

二 船ノ種類

三 船名

四 貨物ノ品目、数量、價格、仕向地

五 乗客ノ氏名、族籍、住所、身分、職業、年齢、

六 門番及  
字船、出港並其豫定年月日

字船

第十一條 所轄民政署若クハ必要ト認ムル場合、於テ

ハ出港官吏ヲシテ船舶ヲ臨檢セシメ、又ハ其ノ乗

客及船員ノ上陸若クハ貨物ノ積卸ノ停止ヲ

命スルコトヲ得

第十二條 第九條乃至第十一條ノ趣旨ニ反シ、若クハ

以下ノ罰金ヲ受ス

第十三條 第九條乃至第十一條ノ趣旨ニ反シ、若クハ

第十二條ノ規定ニ反シ、若クハ

第十四條以下ノ罰金ヲ受ス

第十五條 本令ノ規定スルモノ、若クハ必要ナル細則ハ民政

署長之ヲ定ム

附則

露子船舶ノ出入ト関シテハ當分ノ内道各ノ例ニ按ル  
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

関東州在留者取締規則

第一条 本令ニ於テ在留者ト稱スル者ハ出入シ又ハ居住  
スル者ヲ云フ

第二条 関東州内<sup>在留者</sup>其氏名、族籍（外名<sup>ハ</sup>アリテハ其石籍）  
身分、職業、年令及戸主、家族、同居人、使用人ノ区別  
並居住ノ場所ヲ異レ五日以内所轄民政署又ハ其ノ  
支署ニ届出ツヘシ其居住地ヲ變更シタルハ又同レ

前項ノ届出テハ家族、同居人、使用人トアリテハ戸  
主、セタイ主又ハ傭主ヨリ其手続ヲ為スヘシ

第三条 外人（支那人ヲ除ク）ハ當分ノ内大連及旅  
順ノ市街地<sup>内</sup>居住シ不効産ヲ借受テ又ハ使用ス  
ルコトヲ得

亦同条居住者ニシテ出生、死亡、転居、其他戸籍又  
ハ届出テノ事項ト異動ヲ生シタルハ五日以内ハ  
戸主、セタイ主、傭主又ハ家族ヨリ所轄民政署又  
ハ其支署ニ届出ツヘシ  
亦五条在留者ニシテ治安ヲ妨碍シ又ハ風俗ヲ壞

乱スルノ虞アリト認めルルハ之ノ所轄民政署長ハ一年以  
上ニ年以内実東<sup>部</sup> 督府管内ニ在留ヲ禁<sup>止</sup>スル  
コトヲ得

分六條 在留ヲ禁止セラレタル者ハ十五日以内ニ実東<sup>部</sup>  
督府及轄外ニ退去スヘシ若シ期限内ニ退去シ  
難キ正當ノ理由アリト認めルルハ民政署長ハ相商  
ノ保証書ヲ出サレシメ又ハ出サレシメテ輕懲ヲ与フル  
コトヲ得

分七條 前條ノ輕懲ヲ得タル者其期限内再ヒ分五  
條ニ該布スル奉命アリタルキハ其輕懲ヲ取消シ高

保証書ヲ返收スヘシ

分八條 在留禁止ノ命令ヲ受ケタルハ改心ノ状顯著  
ナルハ之ノ所轄民政署長ハ何時ニテモ其命令ヲ取  
消スコトヲ得

分九條 在留禁止ノ命令ヲ受ケタルモノ其命令ニ對  
シ不服アルハ之ノ命令ヲ受ケタル日ヨリ三日以内ニ所  
轄民政署長ヲ至テ実東<sup>部</sup> 督<sup>府</sup>ノ命令取消ノ申  
請ヲ為スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ其命令<sup>執</sup>ノ行ヲ停止セシメ  
分十條 分二條分三條ノ者ハ<sup>執</sup>留又<sup>執</sup>料



支ス

第十一條 區去留限内又ハ於豫形限内、区去セサル者又ハ禁止部限ヲ犯シタル者ハ六ヶ月以下ノ禁錮又ハ

二百圓以下ノ罰金ニ支ス

第十二條 本令ノ規定スルモノ、外必ヌナルモ、別ニ民政署長之ヲ定ム

附則

露子人ノ居住及旅行ノ実シテハ常分ノ内、従前ノ例ニ據ル

本令ハ發布ノ日より施行ス

明治二十八年九月七日發布 令大連湾出入船舶

及実東州在留者取締 規則及実東州民政署

令并一号大連湾出入船舶及実東州在留者取締

規則施行細則ニ之ヲ廢止ス

Impériale  
de Russie

N 796

Monsieur le Vicomte,

Des sujets russes, propriétaires  
d'immeubles dans le Kwantung, s'adres-  
sent à moi pour connaître les règlements  
municipaux qui ont été établis par  
les autorités japonaises à Port-Arthur  
et à Dalny.

Si ces règlements ont déjà été pu-  
bliés, je serai reconnaissant à Votre  
Excellence de vouloir bien m'en faire  
tenir une copie. Dans le cas contraire,  
j'ai l'honneur de vous prier de m'en  
envoyer une, dès que ces règlements  
auront paru.

Veuillez agréer, Monsieur le  
Vicomte, avec mes remerciements anti-  
cipés, l'assurance de ma très haute  
considération.

G. Babkineff

Son Excellence  
le Vicomte Hayashi  
Ministre des Affaires Étrangères

冊九千九百三十三號

冊三十九年十一月五日接受

主管 政務司

一九〇三

在奉天  
露島公使  
其大臣  
冊九千九百三十三號  
冊三十九年十一月五日接受  
主管 政務司  
冊九千九百三十三號  
冊三十九年十一月五日接受  
主管 政務司

冊九千九百三十三號

冊三十九年十一月五日接受

冊九千九百三十三號

冊三十九年十一月五日接受

冊九千九百三十三號

5-0394

0127

此令財部整理以爲外國人稅收法既  
許可之奉不規則(1217)

稅收及運送之地方  
之奉月十四日附第七百九十六號  
省稅收法以爲中成之新法  
其地方稅務調查之爲地方  
法既之者、村之稅務規則、本年  
一月廿四日附第二號、信託及  
寫字樓規則、六月廿一日

(1217)

附才五十七號、發行、以爲運送之  
並其運送之者、其後及布セラレタル  
規則、本年九月一日公布、港灣  
出入、船舶取洋規則、並、其  
而若、取洋規則、格重、高、九、七、一、七、右  
之、付、態、成、請、求、右、等、海、關、一、部  
及、月、法、送、月、其、官、吏、登、收、其、再、分、以、爲

5-0394

0129

Blank lined page with horizontal ruling lines.

Handwritten Japanese text in vertical columns, including the characters 日本 (Japan) and 東京 (Tokyo).

5-0394

0130

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

des recherches de leurs biens laissés" et l'addition  
faite à l'article 4 <sup>de ce</sup> règlement, la communication  
~~informations~~ vous ~~avant~~ <sup>a</sup> été ~~donnée~~ <sup>faite</sup> respectivement

d'abord par la lettre N.º 2 du 24 <sup>Janvier</sup> ~~juin~~,

~~et~~ <sup>et</sup> par celle du 8 juin

dernier, N.º 54, relative à l'addition

faite à l'article 4 du dit règlement.

Parmi les ordonnances locales <sup>qui ont</sup>  
~~été promulguées~~ <sup>promulguées</sup> depuis  
~~les années~~ le "Règlement concernant

l'entrée et la sortie des navires  
~~les vaisseaux qui entrent~~ dans un port

de Hwantung" ~~ou qui s'en sortent~~,

et le "Règlement <sup>pour</sup> le contrôle

des personnes résidant <sup>dans la province de</sup> Hwantung",

publiés l'un et l'autre le 1<sup>er</sup> Sep-

-tembre <sup>de la présente année</sup> ~~de l'année~~, étant relativement im-

-portants, je m'empresse de vous trans-

-mettre ci-joint, pour me conformer à votre

désir exprimé par vous, un exemplaire

chacun de la traduction anglaise de

ces <sup>deux</sup> Règlements.

Veuillez agréer, Monsieur le Ministre,

les nouvelles assurances de ma très haute

considération. Signé: T. F.



参考

送第

第 80 号

Production

W. J. J.

冊九年十二月三十一日

九

Monsieur le Ministre,

J'ai l'honneur d'accuser réception  
à Votre Excellence de la lettre N.º 796  
en date du 14 courant, qui m'a  
bien voulu m'adresser au sujet des  
réglements municipaux établis à  
Port-Arthur et à Dairen.

En ce qui concerne le "Règlement  
pour le contrôle des étrangers se ren-  
dant à Kwantung dans le but de

Votre Excellence  
Monsieur G. Baklanoff  
Envoyé